

いま、いのちから

3・11 を改めて心に刻む



わたしは怒る。
原子力発電に。「原発的なすべて」の構造に。
わたしは怒る。
この、支配と被支配の構造に。
一部の利益のために多くの犠牲を顧みることのない
根深い差別のシステムに。
わたしは怒る。
「怒ってどうなる」という醒めた声に。

著書『てんつく怒髪』（岩波書店）より抜粋

写真/岡崎正人

落合恵子講演会

2015年4月11日（土）

14:30～（開場 14:00）

資料代一部 500円

※申し込み不要、どなたでも参加できます。
※託児が必要な方は事前にご相談ください。

流山市文化会館

ホール（定員 820名）

流鉄・流山駅 徒歩 8分

東武バス・「加二丁目」「加2号公園前」徒歩 2分

京成バス・「文化会館入口」徒歩 2分

駐車場 195台（無料）

※ウェブサイトあり



『安心して住みつづけられるまちづくり』

東葛病院被ばく医療委員会／東葛健康友の会／HPH推進委員会

連絡先：東葛病院 04-7159-1011（代） 後援：流山市教育委員会



3.11…それからの日々を 「いのち」の立場から語ります。

【講師プロフィール】

1945 年栃木県生まれ。作家、東京家政大学
特任教授。

子どもの本の専門店『クレヨンハウス』、
女性の本の専門店『ミズ・クレヨンハウス』

『オーガニックレストラン』などを主宰。
育児の専門書『月刊クーヨン』発行人。

『Woman's EYE』編集人。
女性問題・環境問題・新しい家族論、介護の
問題など少数派の声に焦点をあてた多彩なテ
ーマで活動。

落合恵子講演会

2015 年 4 月 11 日（土）

14:00 開場

14:30 講演会開始

流山市文化会館・ホール

（定員 816 名・車いす 4 名）

- ※ 申込み不要 どなたでも参加できます。
- ※ 託児が必要な方は事前にご相談ください。
- ※ 資料代一部 500 円いただきます。



「まだ4年」？「もう4年」？

2011 年 3 月 11 日の東日本大震災後、流山市を含む
千葉県北西部はホットスポットとなり（流山市のホーム
ページに放射線の測定値などが公開されています）、
4年が経ちます。

現在でも高い放射線量が観測され、多くの市民が健康
被害を心配しながら生活しています。

わたしたちが、3.11 とその後の一連の出来事から考え
たことはなんだったのでしょうか。

東葛病院は、「地域・職域の人々とともに、安心して住
み続けられるまちづくり」を綱領に掲げた病院です。
子どもたちを守り、この地で安心して住み続けるため
にできること、すべきことを、改めて一緒に考えま
せんか？

（東葛病院 被ばく医療委員会）

東葛病院被ばく医療委員会／東葛病院 HPH 推進委員会／東葛健康友の会

【連絡・お問い合わせ先】 04-7159-1011（代表）

